

レスキューロボットコンテスト 2025

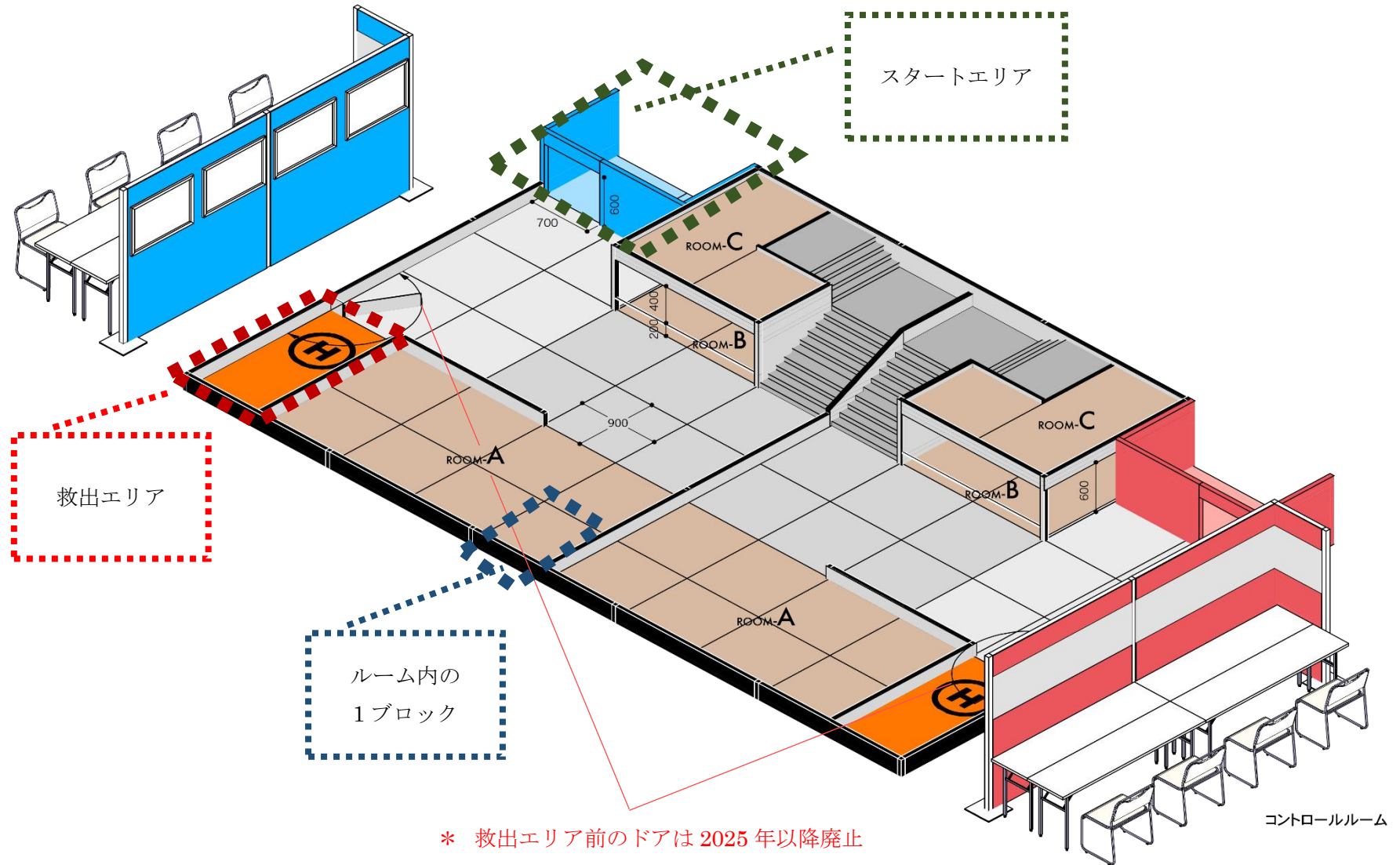
別添 1 Rev.25R-01

<フィールド>

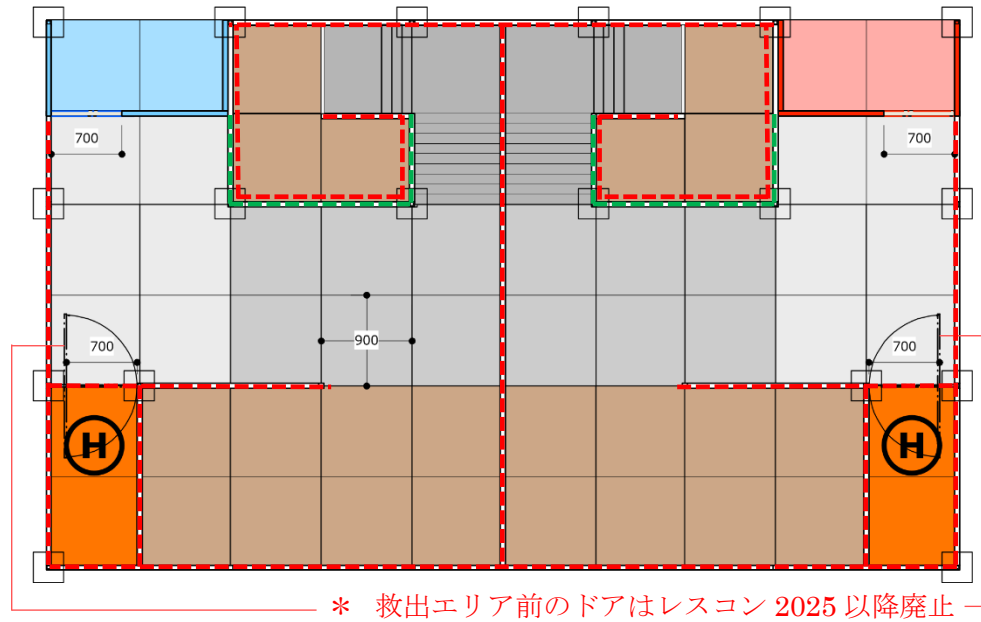
目次

A. 本選フィールド 3

A. 本選フィールド



平面図



- 乗り越え可能な壁 (2階のみ)
- - - 壁の高さ 50mm~200mm
壁は、場所により高さが異なります
また、設営等の都合により
高さは前後します。

<階段の詳細>

寸法

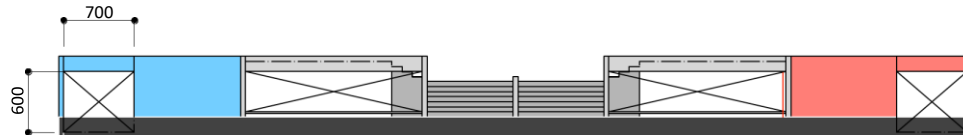
高さ 50mm, 奥行き 100mm

段数

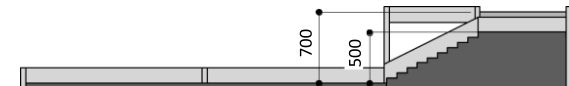
共通エリア — 踊り場 10段

踊り場 — ルームC 4段

正面図



断面図



フィールドの壁について

レスキューロボットコンテストのフィールドは、半倒壊建屋を模擬している。しかし、観客や審判の視認性を優先し本来あるべき壁の高さを低くしており、本来あるべき高さの壁があるフィールドは、以下の図1となる。

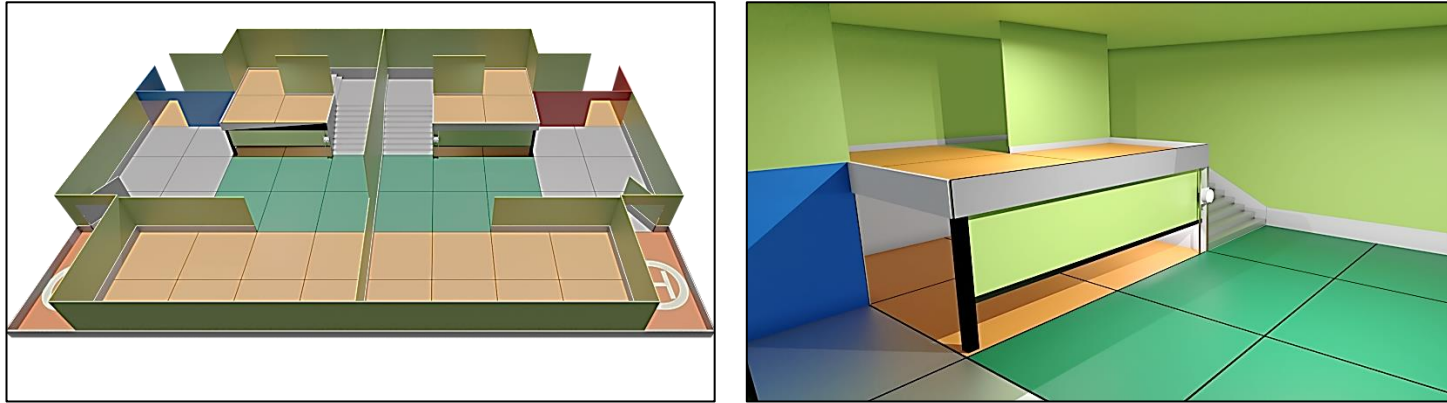


図1. 本来の高い壁がある場合のフィールド

しかし、実際のフィールドは以下の図2の様に壁が低くなっている。

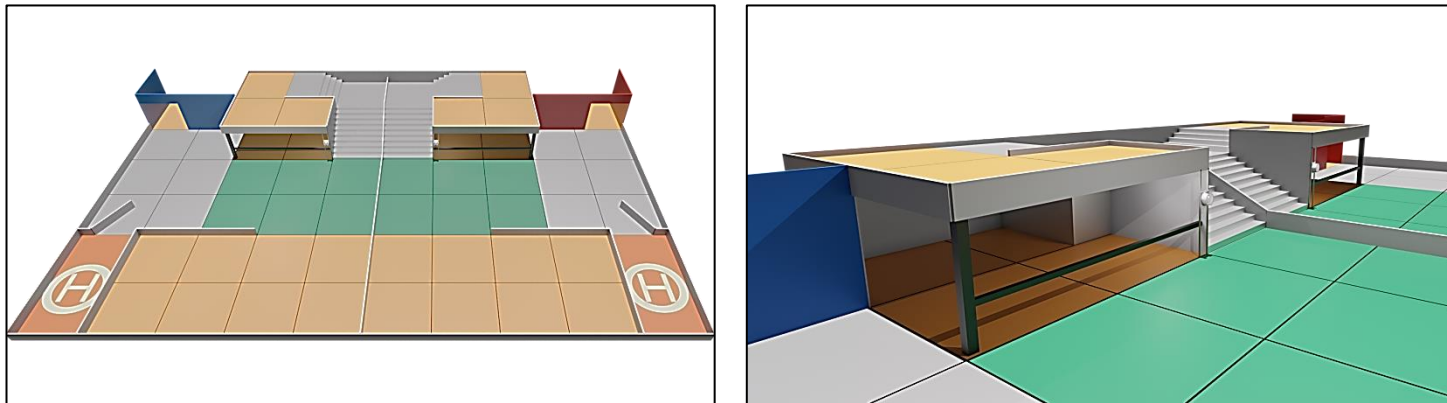


図2. 実際の低い壁があるフィールド

競技は、この低い壁のフィールドで行われる。しかし、レスキューロボットコンテストのフィロソフィーから現実のレスキュー現場を意識し図1の壁がある事を念頭に置いて、レスキューロボットの開発と競技を行う事。また、本来ある高さの壁を無視した行為は減点の対象となる。「規定第2部 4.2.1. 審判団による減点 参照」

乗り越え可能な壁と下から侵入できる壁について

ROOM C (2階) の共通エリアと階段に接しているところは、高い壁はない。以下、図3参照。この部分は、1階から壁を登っての侵入あるいは2階から1階への搬送等が行えるようになっている。また、ROOM B の共通エリアと接している壁は、下部分には壁がない。このため、壁の下からの侵入等が行えるようになっている。

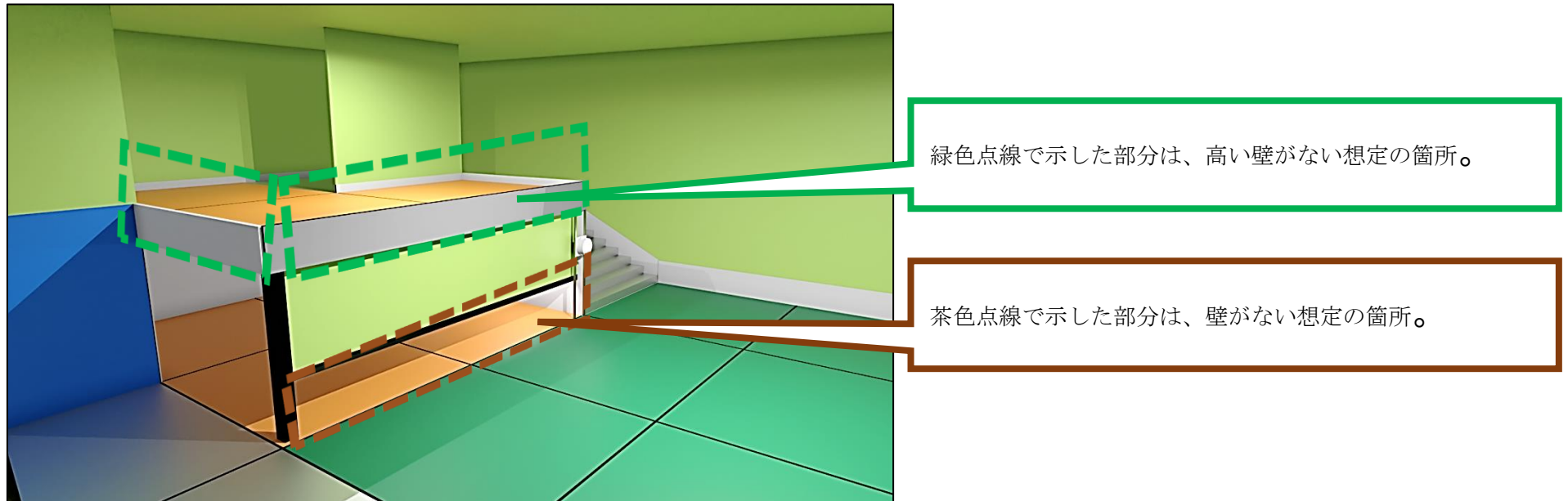


図3. 乗り越え可能な壁と壁がない部分